

ノーサイド

北原 巖 男

910年(2008年)で
 10年(2008年)で
 誰でも参加できる市
 井の様々な人たちが学習す
 る稀有な教場でした。もう
 相当昔のことになります
 が、僕も宇野先生に親しく
 教えをうかがうことが出来、素
 晴らしい体験に恵まれました
 た。先生は大学者でありな
 がらいつも温顔で、僕のよ
 うな不肖の弟子も優しく導
 いてくれました。背筋を伸
 ばされ、凛とされた先生で
 すが、その人間味溢れるお
 人柄に魅せられた僕は、温
 かい語り口を通して伝えら
 れる先生のお話は一言も
 聞き逃すまい、そんな緊張
 感・ワクワク感を以て臨ん
 でいました。古代中国の孔
 子もかくやと思われてなり
 ませんでしたが、
 ある時は我が身と重なり
 赤面し、これを機に正さな
 ければとの思いを抱いてみ
 たり、またある時は他山の
 石として、これは忘れては
 ならないことだなぁと自分
 に言い聞かせたり等々・
 ・新たな出会いがいっぱい
 ありました。孔子には高名な
 弟子たちもいるけれども、
 そうではない僕のような人
 達も沢山いたのでない
 か、そんな思いをしながら
 親しみを感じていました。
 あるとき、宇野精一先生
 が、学生時代に弓道の愛好
 者であったことを知りまし
 た。それは、僕が防衛省・
 自衛隊を退官するまで任に
 あった「全自衛隊弓道連合
 会」会長の職を、西蓮寺
 治会長から受け継いだ直後
 ではなかったかと思いま
 す。早速、理事長の本橋民
 夫教官と段と二階に宇野先
 生のご自宅に押し掛けまし
 た。爾来、宇野先生は、僕
 たちをいつも温かく受け入
 れてくださり、弓道や漢学
 ・日本語・社会・平和など
 様々な体験や思いを込めら
 れたお話を聴くことに恵ま
 れました。
 そうした中で、「全自衛
 隊弓道連合会」のメンバー
 に贈ってくださった当時米
 寿(八十八歳)を迎えられ
 る。唯、真の人格者は、決して
 人と争うことはない。唯
 一の例外は競争である。し
 かし、その場合でも始めか
 ら終わるまで礼に欠けるこ
 とはない。その態度は常に
 ゆったりとしており、驕り
 高ぶることがない。その争
 いはどこまでも君子であ
 る。」
 その閉会式にて本橋民夫
 フィスに「正射必中」の掛
 軸を掛けています。何か
 迷ったときに、掛け軸を見
 て心を落ち着かせます。」
 の調子、コンディションが
 「的中(あ)てたいとい
 う気持ちの前に出過ぎると
 射がどうしても乱れます。
 慰勞・激励しました。
 ところで、本年1月の「月
 刊 武道」(発行 公益財
 団法人日本武道館)に、高
 村正彦日本武道館長(元防
 衛大臣)と「ディバジャバ
 ン代表取締役社長のシエロ
 ーム・シユン氏の新春
 特別対談「弓道から学び得
 たことを経営に活かす」が
 掲載されています。シユン
 ヤン氏は、29歳から弓道を
 始め、既に30年も続けてお
 られ、現在、国際弓道連盟
 理事、錬士五段。師匠は故
 浦上博子範士十段。
 対談の中で、氏は、「オ
 も分かっていました。このパ
 ラドックスが稽古を続けて
 いける源泉でもあるので
 す。」「以前、浦上先生に言
 われましたが、審査は自分
 の調子、コンディションが

其の争いや君子なり

東京の中心に近い湯島
 に、築地屏に囲まれ壮大
 な屋根をもつ堂々たる建
 物があります。いわゆる
 湯島の聖堂です。江戸時
 代は幕府の学問所であっ
 たことは良く知られてい
 るところです。
 この聖堂で毎日曜日、
 論語の素読の指導が行わ
 れていました。(今も実
 施されているかも知れま
 せんが)講師は漢学の
 泰斗の宇野精一先生(1
 赤面し、これを機に正さな
 ければとの思いを抱いてみ
 たり、またある時は他山の
 石として、これは忘れては
 ならないことだなぁと自分
 に言い聞かせたり等々・
 ・新たな出会いがいっぱい
 ありました。孔子には高名な
 弟子たちもいるけれども、
 そうではない僕のような人
 達も沢山いたのでない
 か、そんな思いをしながら
 親しみを感じていました。
 あるとき、宇野精一先生
 が、学生時代に弓道の愛好
 者であったことを知りまし
 た。それは、僕が防衛省・
 自衛隊を退官するまで任に
 あった「全自衛隊弓道連合
 会」会長の職を、西蓮寺
 治会長から受け継いだ直後
 ではなかったかと思いま
 す。早速、理事長の本橋民
 夫教官と段と二階に宇野先
 生のご自宅に押し掛けまし
 た。爾来、宇野先生は、僕
 たちをいつも温かく受け入
 れてくださり、弓道や漢学
 ・日本語・社会・平和など
 様々な体験や思いを込めら
 れたお話を聴くことに恵ま
 れました。
 そうした中で、「全自衛
 隊弓道連合会」のメンバー
 に贈ってくださった当時米
 寿(八十八歳)を迎えられ
 る。唯、真の人格者は、決して
 人と争うことはない。唯
 一の例外は競争である。し
 かし、その場合でも始めか
 ら終わるまで礼に欠けるこ
 とはない。その態度は常に
 ゆったりとしており、驕り
 高ぶることがない。その争
 いはどこまでも君子であ
 る。」
 その閉会式にて本橋民夫
 フィスに「正射必中」の掛
 軸を掛けています。何か
 迷ったときに、掛け軸を見
 て心を落ち着かせます。」
 の調子、コンディションが
 「的中(あ)てたいとい
 う気持ちの前に出過ぎると
 射がどうしても乱れます。
 慰勞・激励しました。
 ところで、本年1月の「月
 刊 武道」(発行 公益財
 団法人日本武道館)に、高
 村正彦日本武道館長(元防
 衛大臣)と「ディバジャバ
 ン代表取締役社長のシエロ
 ーム・シユン氏の新春
 特別対談「弓道から学び得
 たことを経営に活かす」が
 掲載されています。シユン
 ヤン氏は、29歳から弓道を
 始め、既に30年も続けてお
 られ、現在、国際弓道連盟
 理事、錬士五段。師匠は故
 浦上博子範士十段。
 対談の中で、氏は、「オ
 も分かっていました。このパ
 ラドックスが稽古を続けて
 いける源泉でもあるので
 す。」「以前、浦上先生に言
 われましたが、審査は自分
 の調子、コンディションが

た宇野精一先生の言葉は、
 今も脈々と引き継がれてい
 ます。
 「其争也君子」(其の争
 いや君子なり)
 昨年2024年12月8
 日、明治神宮吉日本弓道連
 盟第二弓道場で行われた
 「全自衛隊弓道連合会」主
 催の「第49回全自衛隊弓道
 大会」の実施要領冒頭にも
 「其争也君子」は、これまで
 と共に掲載されています。
 ここで、「君子」は「真の
 人格者」と解釈しています。
 「真の人格者は、決して
 人と争うことはない。唯
 一の例外は競争である。し
 かし、その場合でも始めか
 ら終わるまで礼に欠けるこ
 とはない。その態度は常に
 ゆったりとしており、驕り
 高ぶることがない。その争
 いはどこまでも君子であ
 る。」

た宇野精一先生の言葉は、
 今も脈々と引き継がれてい
 ます。
 「其争也君子」(其の争
 いや君子なり)
 昨年2024年12月8
 日、明治神宮吉日本弓道連
 盟第二弓道場で行われた
 「全自衛隊弓道連合会」主
 催の「第49回全自衛隊弓道
 大会」の実施要領冒頭にも
 「其争也君子」は、これまで
 と共に掲載されています。
 ここで、「君子」は「真の
 人格者」と解釈しています。
 「真の人格者は、決して
 人と争うことはない。唯
 一の例外は競争である。し
 かし、その場合でも始めか
 ら終わるまで礼に欠けるこ
 とはない。その態度は常に
 ゆったりとしており、驕り
 高ぶることがない。その争
 いはどこまでも君子であ
 る。」

裏の必印に
 続きます



悪くても行きなさいと、完 第一回から数えて、第50
 壁な状態を待っているという現 回の記念大会。多くの全
 状維持に留まると言われま 国の弓友の皆さんには、
 した。」 日ごろからの稽古に励ん

そして、前掲の宇野精一
 先生から頂いた「其争也君
 子」に通ずる「礼記射義」
 の中にある言葉に言及され
 ています。曰く、「発して
 中らざる時は、則(すなわ)
 ち弓に勝つ者を怨(うら)
 みず。反つてこれを言に求
 むるのみ。弓が中らない時、
 その原因を自分に求めなさ
 い、という意味です。・・・
 ・「うちの商品が売れない
 のは、この不景気のせいだ」
 などと外部のせいにしてい
 る暇はありません。(以上
 いずれも、前掲「月刊武道」
 から筆者抜粋)
 本年12月7日に実施され
 る「全自衛隊弓道大会」は、
 1974年(昭和49年)の 会理事

北原 巖男(きたはら い
 わお) 元防衛施設庁長
 官。元東ティモール大
 使。現日本東ティモール
 協会会長。(公社) 隊友